

## はじめに

苫小牧地方は、早くからパルプ工場を中心とする産業都市として栄え、現在では北海道有数の臨海工業地帯として、本道の開発発展にとって最も重要な地域であります。

また、周辺には、美しい湖沼、動植物が多く息づく豊かな自然環境に恵まれているところでもあります。

この地方の環境を良好に保全するために、昭和55年4月に当センターが設置されました。

「豊かな自然と潤いのある快適な環境に住みたい」これはだれもが願っていることであり、その関心は高まりつつあります。

環境に対する問題は様々なものがありますが、私たちは、まず、自分の立場で、いまできることから始めたいものです。

このパンフレットで、環境保護に対する関心が少しでも高まれば幸いです。

## Preface

Tomakomai area has long been a prosperous industrial city with pulp factories and so on. Now, as one of the largest seaside industrial zone, it is the most important area for development in Hokkaido.

In addition, it is surrounded by natural beauty including lakes, swamps, animals and plants. To conserve environment in this area, the Tomakomai Area Environmental Supervision Center was established in April, 1980.

Everyone wishes to live in an environment full of natural beauty and these concerns are increasing.

There are various environmental problems. Each of us should do what we can do now on our own. We would be happy if this brochure contributes to the increase in public concern about environmental protection.

## ■ 沿革

- 1973 3 苫小牧公害防止センターを開設（旭町）
- 1973 6 苫小牧公害防止センターに大気汚染テレメーターシステムを設置し業務開始
- 1980 3 苫小牧公害防止センターを苫小牧市に譲与
- 1980 4 苫小牧地方環境監視センターを開設（静川）  
苫小牧地方大気汚染監視テレメーターシステム業務開始
- 1981-1985 3 工場系テレメーターシステムを整備
- 1982-1985 3 街頭電光表示盤を設置
- 1988 6 航空機騒音監視システムを設置
- 1989 10 大気汚染監視システムを更新
- 1991 8 街頭電光表示盤を環境情報表示盤に更新
- 1994 3 工場系テレメーターシステム更新（NTT一般回線化）
- 1994 4 大気汚染緊急時通報システムの更新（一般同報FAX）
- 1994 6 航空機騒音監視システムを拡張
- 1994 10 大気汚染監視システムを更新
- 1996 8 環境情報表示盤を更新
- 1999 10 大気汚染監視システムを更新
- 2001 8 環境情報表示盤を更新



ウトナイ湖の白鳥 Swans at Lake Utonai



はまなす Sweetbrier



アレチマンヨイグサ Archimatsuyoigusa



つた森山林 Tsutamorisannin